

<前 年 度>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
職員配置	<p>●配置計画</p> <p>理事長 1名 常務理事1名（兼務） 事務局長1名（兼務） 事務局員5名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計8名（内6名は兼務、4名は出向）</p>	<p>●実績人員</p> <p>理事長 1名 常務理事1名（兼務） 事務局長1名（兼務） 事務局員4名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内6名は兼務、4名出向）</p>	<p>●予算人員</p> <p>理事長 1名 常務理事1名（兼務） 事務局長1名（兼務） 事務局員4名（兼務） 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内6名は兼務、4名は出向）</p>
重点項目	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>○衛生委員会との連携</p> <p>2. 中期経営計画の遂行</p> <p>○安定運営に向けた施設の維持管理</p> <p>○人材確保に向けた取り組み</p> <p>3. 本部業務の整理と ICT 化</p> <p>○長期修繕計画の作成 専門業者に調査を依頼し、財務状況を照らし合わせながら修繕計画を作成する。</p> <p>○本部業務の見直しと ICT 化 法人全体の運営に合わせた業務の再振り分けを行う。 会計、給与、各種届出のクラウド化を進め、業務の効率化を図る。</p>	<p>1. 職場環境の整備</p> <p>・衛生委員会の活動を通して、具体的な健康管理の方法を検討、周知をしていく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、衛生委員会が年間を通じて実施できず、具体的な提案が出来なかった。</p> <p>・ストレスチェックを実施し、高ストレス者には産業医との面談を勧めたが、実施を希望する職員はいなかった。</p> <p>・衛生委員会が実施された回数が少なく、意見を徴することが出来なかった。</p> <p>2. 中期経営計画の遂行</p> <p>・長期修繕計画作成に向けた外壁調査を田中土建工業株式会社に依頼した。</p> <p>・児童部門人材確保のため、行政や保育団体、株式会社主催の保育士求職者フェアに参加した。（年度内5回）</p> <p>3. 本部業務の整理と ICT 化</p> <p>※上記中期計画の遂行に記載の通り</p> <p>・会計ソフト・給与ソフトのオンライン化を実施した。また、雇用保険、社会保険、納税関係のオンライン手続きについて準備を進めた。来年度の施行期限に併せて移行できるよう更なる準備を進める。</p>	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善 過去の定期健康診断では、有所見者の大半が生活習慣病に起因しているが、生活習慣病の多くは、本人に全く自覚症状のないまま進行し、突如体に重大な状態を引き起こすので、衛生委員会の活動を通して、改善方法を工夫しながら周知を図る。</p> <p>○メンタルケアの充実 対人関係や仕事の多忙による過度なストレスを感じる事が多い状況下において、福祉で働く職員にとっても利用者などへのより良い支援サービスを提供するうえで、心の健康を保つメンタルケアが大切である。ストレスチェック制度や産業医の協力の基に取組んでいく。</p> <p>○衛生委員会との連携 衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定</p> <p>○調査から見えてくる修繕箇所を反映させた長期修繕計画の策定に向けて、業者と打ち合わせを行っていく。 うらら保育園、特別養護老人ホームすずうらホーム拠点の予算状況も勘案した計画の作成を目指す。</p> <p>3. 安定運営に向けた人材確保</p> <p>○外部業者も活用して、人材確保に努める。 行政・関係団体・株式会社を活用し、就職フェアへの参加やウェブページの充実を行っていく。 状況に応じて、派遣会社や紹介会社を活用し、人材確保に努める。</p>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
その他	<p>1. 衛生委員会の実施</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催</p> <p>(1) 令和2年度第1回理事会</p> <p>(2) 令和2年度第1回評議員会</p> <p>(3) 令和2年度第2回理事会</p> <p>(4) 令和2年度第3回理事会</p> <p>(5) 令和2年度第4回理事会</p> <p>(6) 令和2年度第2回評議員会</p>	<p>1. 衛生委員会の実施状況</p> <p>職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を周知した。</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催状況</p> <p>評議員会・理事会の開催状況</p> <p>令和3年度 第1回理事会（決議の省略理事会） 決議がなされたとされる日、令和3年6月14日</p> <p>① 諸規程の改定について ② 評議員選任・解任委員の選任について ③ 令和2年度 事業報告（案）について ④ 令和2年度 決算報告（案）について ⑤ 理事長・常務理事の職務執行状況報告 ⑥ 理事長・園長兼務者の定期昇給について ⑦ 監事監査報告について ⑧ 中期経営計画について ⑨ 役員等賠償責任保険について ⑩ 評議員会の招集について</p> <p>令和3年度 第1回（定時）評議員会（決議の省略評議員会） 決議がなされたとされる日、令和3年6月28日</p> <p>① 令和2年度 事業報告案について ② 令和2年度 決算報告案について ③ 監事監査報告について</p> <p>④ 次期理事・監事候補者の選任について</p> <p>令和3年度 第2回理事会（決議の省略理事会） 決議がなされたとされる日、令和3年7月4日</p> <p>① 理事長・常務理事の選出について</p> <p>令和3年度 第3回理事会 令和3年12月1日開催</p> <p>① 令和3年度中間事業報告について ② 令和3年度補正予算（案）について ③ 理事長・常務理事の職務執行状況について ④ 理事長・園長兼務者の期末手当についての提案 ⑤ その他の案件について</p> <p>令和3年度 第4回理事会（決議の省略理事会） 決議がなされたとされる日、令和4年1月21日</p> <p>① 令和4年4月1日からの重要人事について</p> <p>令和3年度 第5回理事会 令和4年3月22日開催予定 令和3年度 第2回評議員会 令和4年3月30日開催予定</p>	<p>1. 衛生委員会の実施</p> <p>職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を検討する。また、法人と連携し、職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 評議員会・理事会の開催予定</p> <p>(1) 令和4年度第1回理事会 令和4年6月14日（火）開催予定 令和4年度第1回評議員会（定時評議員会） 令和3年6月29日（水）開催予定</p> <p>(2) 令和3年度第2回理事会 日程未定</p> <p>(3) 令和3年度第3回理事会・第2回評議員会 日程未定</p>

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
その他	<p>3. 法人登記</p> <p>4. 法人監査</p> <p>5. 届出関係</p>	<p>3. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記 令和3年3月31日現在の資産の総額が、2,343,873,501円となり、令和3年6月30日に変更登記を行った</p> <p>(2) 役員に関する事項変更登記 理事長 齊藤 真弓に関する事項の登記を令和3年9月29日に行った。</p> <p>4. 法人監査 令和2年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により令和3年6月3日に実施した。</p> <p>5. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金に関わる申請</p> <p>(3) 東京都 行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）</p>	<p>3. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記</p> <p>4. 法人監査 令和3年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により実施予定</p> <p>5. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書 ③各種規程の変更</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金に係わる申請</p> <p>(3) 東京都 行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）</p>

令和4年度 法人本部事務局

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和4年度 事業計画																																																								
利用定員	<p>●事業定員</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児以上</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>22</td></tr> </table> <p>合計 70人</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>14</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> <p>合計74人</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	人数	12	12	12	12	22	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	12	12	12	14	12	12	<p>●実績人員 (令和4年3月)</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>11</td></tr> </table> <p>合計74人</p> <p>○年度途中の入退園</p> <p>入園 0歳児 4名 1歳児 1名 2歳児 2名 4歳児 2名 退園 1歳児 1名 2歳児 1名 3歳児 1名 5歳児 1名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	12	12	12	13	14	11	<p>●予算定数等</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>0歳児</th><th>1歳児</th><th>2歳児</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th><th></th></tr> <tr><td>人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>14</td><td>14</td><td>合計76人</td></tr> </table> <p>●執行上の問題点・課題</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	12	12	12	12	14	14	合計76人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上																																																						
人数	12	12	12	12	22																																																						
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	12	12	12	14	12	12																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	12	12	12	13	14	11																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	12	12	12	12	14	14	合計76人																																																				
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>施設長 1名 監督職 2名 一般職 18名 非常勤職員 11名 合計 32名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 監督職 2名 (内 育児休業取得中 1名) 一般職 19名 非常勤職員 11名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職：非常勤職員 1名 (10月～) 産前産後休暇・育児休業取得中：正規保育士 2名 退職：非常勤職員 1名 (6月)</p> <p>令和4年3月時点 合計 33名</p> <p>退職：正規保育士 1名 非常勤職員 1名 (3月末日) 異動：施設長 1名 (たつみ保育園へ) 正規保育士 2名 (ひのか保育園へ)</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和4年4月</p> <p>退職…正規保育士 1名 非常勤保育補助 1名 異動…施設長 たつみ保育園へ 1名 ひのか保育園から 1名 正規保育士 ひのか保育園へ 2名 ひのか保育園から 4名 御蔵島村保育園より 1名</p> <p>施設長 1名 監督職 2名 一般職 19名 (内 1名育児休業取得予定) 非常勤職員 8名</p> <p>合計 30名</p>																																																								
処遇の特例事項	<p>●感染症予防・拡大防止対策</p> <p>・マニュアルに基づいた対策を行う</p> <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。</p> <p>*新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p>	<p>●感染症の状況</p> <p>4・5月アデノウイルス感染症 7名 / 4・5・6月RSウイルス感染症 5名 5・6・12・2月突発性発疹 6名 / 6月咽頭結膜熱 1名 / 11・12月手足口病 16名 / 11・12月ヘルパンギーナ 10名 / 11月溶連菌感染症 1名 / ウイルス性胃腸炎 2名</p> <p>*新型コロナウイルス感染症</p> <p>発症期間：2月1日から28日 職員 10名 児童 19名 計 29名</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 16件</p> <p>内 上顎前歯打撲・下口唇裂傷/外傷/打撲/鼻内異物/眼球打撲・眼瞼皮下血種/頭部外傷/後頭部打撲挫創(後頭部打撲)/圧挫創/歯のぐらつき/擦過傷 2件/爪下の異物混入/</p> <p>●新型コロナウイルス感染症関連</p> <p>新型コロナウイルス感染症の都内感染状況を鑑み、年3回の定例保護者会はクラスごとにリモートで開催。保護者参加の行事や保育参加は内容の変更や時間の短縮など都度状況を見ながら判断を行った。2月、園内に感染が拡大。2月1日から28日の期間で職員 10名 児童 19名 計 29名が発症。その後、感染症対策の見直しと保育中の配慮点を職員で再確認。今後について検討し、保護者会にて保護者への周知とともに、感染対策への協力依頼を行った。</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>衛生管理を徹底し、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p> <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防対策を行う。</p>																																																								

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p>①保育環境の再考</p> <p>○保育環境について考察を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内環境や園庭を見直し、保育士の愛情の中で乳幼児期の『心と体の発達にそった環境とは』を再考し、具体化してゆく。 <p>○安心と安全な保育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理チームが中心となり、保育中に起こりうるリスクの検証や定期的な危険予知ワークを行い、職員全体の危機管理への意識を高め、安全保持に努める。 ・子供達にとって、保護者にとっての『安心とは？』を再考する。 <p>○『ていねいな暮らし』を具現化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDG-s（持続可能な開発目標）を意識した暮らしを保育の中で行いながら『ていねいな暮らし』に繋げていく。 <p>②職員育成の強化</p> <p>○各階層別の育成を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員を階層別（新任初任・中堅・リーダー層）に分け、各階層で縦割りチームを設け、中堅、リーダー層が新任初任の育成を行う。 ・各階層がワークショップなどの企画・運営を担い、保育や危機管理など互いに学び合う中で同僚性や協働性を育む。 ・研修体系を基盤とし管理監督職が主となり、各階層ごとに法人職員としての心得を理解に繋げる。 <p>○外部のオンライン研修を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を受講し、研修内容の報告をこまめに職員へ周知し、学びを共有しあう。 	<p>①保育環境の再考</p> <p>○保育環境について考察を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の改修工事を行い、以前よりも水はけが良くなったことで子供たちが過ごしやすい環境となり、のびのびと戸外活動を行う。また室内のグリーン化を計画し、植物を選定後、植栽したことで子供たちが興味を示す姿があり、植物のある暮らしが根付き始めた。 ・各担任が児童の月齢や発達に沿った玩具選定と提供を行ったことで遊びの充実や発展へとつながり、子供たちが遊びこむ姿があった。 <p>○安心と安全な保育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理チームが散歩手順書の見直しを行い、職員会議にて情報共有を行った。また会議で出た意見をチーム内で再検討し、視覚的に見て分かりやすいものに改訂した。 ・12月に葛飾警察署より講師を迎え、職員を対象とした防犯訓練を行った。専門的な視点からの講話と実地を行い、防犯についての意識を高めた。また、園内の防犯対策について、延長保育時間帯の施設方法を一部変更。その内容を園だより、保護者会で発信し子供たちの安全を保障するため、保護者に協力を得た。 <p>○『ていねいな暮らし』を具現化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な暮らしに向けて、みみずコンポストを設置。みみずに名前を付けるなど子供たちが親しみを持ち、接する姿があった。子供たちとみみずが共に暮らし基盤を整え、命の循環や命の営みを学ぶ機会となった。 <p>②職員育成の強化</p> <p>○各階層別の育成を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの運営についてリーダー層が中心となり、その時の課題や問題点を抽出。話し合いを行ったことが職員の安心につながり、翌日からの保育を行うことができた。またリーダー層を中心に行事や職員会議を行い、中堅、新任・初任層も交えて話し合うことで、それぞれが気持ちを発信し、活発な意見交換の場へと繋がった。 ・法人児童施設階層別研修体系について各階層で内部研修を行い、法人の求める職員像や組織について学んだ。また新任・初任層向けに『うらら保育園が考える保育とは？』というテーマで研修を行い、うららの原点を学ぶ機会となった。 <p>○外部のオンライン研修を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれの課題に合わせ、オンライン研修を受講。園全体で課題としている内容については内部研修として全員で受講。それぞれに必要な知識や情報を得ることで、個々の強みや意識の向上につながった。またその学びが職員の自信となり、クラスだよりや保護者会などで保護者に発信する様子もみられた。 	<p>①保育の再考、充実の実現</p> <p>○保育環境について考察を深め、再構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子供の育ちを支える保育環境づくり』に向けて子供たちの今の姿を手がかりに、室内・園庭環境について職員間で対話し、環境に特化した研修を受講するなど再考⇒具現化してゆく。 ・手間をかける、手がける保育を大切にしながら『暮らしの豊かさとは？』を再考する。 <p>○安心・安全な保育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナと共存しながら保育の安定を図ってゆく。 ・子供たちにとって、保護者にとっての『安心とは？』を引き続き再考してゆく。 ・各マニュアルを見直し、保育現場で活用しやすいものに改訂する。 <p>②保育の組織力強化</p> <p>○職員階層の再編。保育課題の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体性・発達に沿った保育を専門的な視点から研修や日々の保育を通して学び、それを踏まえて職員同士で対話し実践につなげる。 ・ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題の解決に向けてチームで協力し合い、実現していく。 <p>○リーダー層の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしての自覚・役割を理解し、使命感を持って業務に当たれるよう指導を行う。またリーダー層が中心となり、同僚性を意識した職員関係を築いていく。
	その他	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和3年度 開催回数・実績に基づき、各事業の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろばの感染防止対策を踏まえた今後の開催方法の検討と実践。 ・利用者のニーズに合わせたオンライン講座の開催。 <p>●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定</p> <p>●葛飾区子育て支援課指導検査 実施予定</p>	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和3年度 利用登録家庭数 237家庭（内新規登録家庭 35家庭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参集を避け、利用人数を調整しながら活動を行った。父親のテレワークによる母子の子育て相談室の利用が目立った。また、東京都が企画する防災オンライン研修開催に「からこる」が申請。職員が仲介を行い、からこる利用者に学びの場を提供した。 <p>●東京都福祉サービス第三者評価 12月に実施</p> <p>●葛飾区子育て支援課指導検査 11月に実施</p> <p>●オザうらホーム主催『にじいろマルシェ』に参加</p>

<前年度>

令和4年度 たつみ保育園 事業計画 (案)

作成 令和4年3月3日

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和4年度 事業計画																																										
利用定員	<p>●事業定員</p> <p>◎通常保育 合計 116名</p> <table border="1" data-bbox="261 342 691 443"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>合計 116 (人)</p> <p>◎特別保育 一日定員数</p> <p>一時保育 10名、病後児保育 4名</p> <p>休日保育 10名</p> <p>合計 24名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	15	18	24	25	25	<p>●実績人員</p> <p>◎通常保育 (令和4年2月現在) 合計 103名</p> <table border="1" data-bbox="727 342 1516 443"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>◎年度途中の入退園</p> <p>入園…0歳児 3名、1歳児 2名、2歳児 1名、3歳児 2名、4歳児 0名、5歳児 0名</p> <p>退園…0歳児 1名、1歳児 2名、2歳児 0名、3歳児 6名、4歳児 3名、5歳児 1名</p> <p>◎特別保育 年間利用人数：2月現在</p> <p>一時保育 407名、病後児保育 110名、休日保育 271名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	8	14	18	20	19	24	<p>●予算定員</p> <p>◎通常保育 合計 116名</p> <table border="1" data-bbox="2018 342 2807 443"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>◎特別保育 一日定員</p> <p>一時保育 10名、病後児保育 4名、休日保育 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	15	18	24	25	25
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	9	15	18	24	25	25																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	8	14	18	20	19	24																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	9	15	18	24	25	25																																							
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名</p> <p>監督職 1名 一般職 20名</p> <p>非常勤職員 22名</p> <p>合計 45名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 監督職 1名</p> <p>一般職 20名 (内 1名 令和4年3月末まで育児休業取得中)</p> <p>非常勤職員 22名 (内 1名 令和4年3月末まで育児休業取得中)</p> <p>合計 45名</p> <p>令和3年度3月退職職員 合計 3名 (内 正規保育士 2名、非常勤保育士 1名)</p> <p>◎年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職…9月：用務員 1名 11月：用務員 1名 1月：保育補助 1名</p> <p>退職…6月：非常勤保育士 1名 用務員 1名</p> <p>(2月現在)</p>	<p>●予算人員</p> <p>※令和4年4月</p> <p>退職…正規保育士 2名 非常勤保育士 1名</p> <p>採用…正規保育士 1名</p> <p>異動…施設長 ひのか保育園へ 1名 うらら保育園から 1名</p> <p>正規保育士 ひのか保育園から 1名</p> <p>施設長 1名</p> <p>管理職 (副園長) 1名 事務局長・ひのか保育園副園長兼務</p> <p>監督職 1名 一般職 19名 (内 1名産前産後休暇・育児休業取得予定)</p> <p>(内 1名育児休業所得予定)</p> <p>非常勤職員 23名 (内 1名育児休業所得予定)</p> <p>合計 45名</p>																																										
処遇の特 例事項	<p>●感染症の状況</p> <p>5・6・10・12月 胃腸炎 10名 4・10・2月 感染性胃腸炎 4名</p> <p>4・5・6・11・12・1・2月 突発性発疹 7名</p> <p>5・6月 水痘 2名 7月 RSウイルス 2名 8・1・2月 新型コロナウイルス感染症 12名</p> <p>11・1月 溶連菌感染症 2名 12月 流行性耳下腺炎 1名</p> <p>※8・1・2月新型コロナウイルス感染症 (職員) 3名</p> <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 44件</p> <p>顔面裂傷/擦過傷・皮膚潰瘍・皮膚感染症/擦過傷・皮膚感染症・湿疹/皮膚欠損創</p> <p>右外耳道異物/右角膜糜爛/結膜異物/擦過傷 3件/上唇裂傷/右足挫創/擦過創・皮膚感染症</p> <p>擦過創 5件/上唇小帯裂傷 3件/右頬部擦過創/顔面擦過創 6件/右頬部挫創/顔面皮膚潰瘍</p> <p>右眼球打撲傷・結膜炎/下顎部皮膚欠損創/左頬部擦過創/外傷性歯の脱臼/顔面挫創/頭部挫創</p> <p>左頬部皮膚欠損創・顔面皮膚潰瘍/前額部擦過創/打撲 (右上A歯) /右眼瞼下挫滅創</p> <p>上口唇挫創/挫創 2件/左下顎部擦過創/右示指爪下血種/切創/皮膚剥離</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし。</p> <p>(2月現在)</p>		<p>●感染症予防・拡大防止対策</p> <p>・マニュアルに基づき、インフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防を行う。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に関する、葛飾区からの通知や指示に従い、国及び東京都の情報も参考にしながら、感染拡大防止策に努める。</p> <p>●事故・怪我処置対応</p> <p>・マニュアルに基づいた対策を行い、浸透を図る。</p>																																										

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p>①保育の質の向上</p> <p>○たつみの保育を再考する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の当たり前を見直す。児童の育ちを支える上で大切にしたいことを職員間で共有しながら、丁寧な保育実践につなげてゆく。 ・児童主体の行事の在り方を見直す。児童と保育者が協働的に活動を探求してゆく。 ・新しい生活様式の中で、“見える化”を意識しながら、保護者と児童の育ちを共有してゆく。 <p>②安心と安全な保育</p> <p>○安全管理や危機管理の意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に関するマニュアルを職員間で丁寧に読み合わせ、マニュアルの浸透化を図る。 ・過去の事故事例や日常的なヒヤリ・ハットを活用しながら、職員一人ひとりの安全管理に対する意識の向上や児童の安全保持に努める。 ・引き続き、安全管理や危機管理に対する園内研修の充実を図る。 <p>③主体的な組織づくり</p> <p>○職員一人ひとりが物事を“自分事”として捉え、チームで協働しながら課題解決に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層別チームを再編する。双方向のコミュニケーションを通して共に学び合い、同僚性や協働性を育む。 ・リーダー層・中堅層が中心となり、職員一人ひとりが主体的に参画できる会議の企画・運営を担う。 ・職員間で知恵を出し合いながら、働きやすい場づくりを目指す。 	<p>① 保育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午睡時間の在り方について、改めて職員間で意見交換をした。また、園・家庭それぞれの姿や睡眠リズム等について保護者と情報共有しながら、個々の状況に合わせて過ごせるよう工夫した。 ・たつみの食風景について、非常勤職員の声も意識的に吸い上げながら職員全体で振り返りをし、声掛けや関わり方等大切にしたいことを再確認した。職員全体で心地良い食風景を目指し継続して見直しをすすめた。 ・夏祭りや運動会、ほかほかの日等の行事の企画・準備を児童（3～5歳児）と共にすすめ、主体的に参加する姿が多く見られた。夏祭りでは、職員と児童で協働しながらお神輿づくりのプロセスを可視化した。さらに、保護者会やたつみ café（オンライン上の交流会）では、園の様子を写真や動画で共有する等し、児童と保護者、保護者と職員、職員同士でのコミュニケーションツールとしても活用された。 <p>② 安心と安全な保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に関するマニュアルの読み合わせを定期的に行い、現状に合わせ改訂を行った。 ・園内での新型コロナウイルス感染症の発生状況や、区内の感染状況に合わせ、その都度園内の感染対策の見直しを行った。又、保育の中で看護師による手洗い講座を行う等し、感染予防に努めた。 ・全職員対象に看護師が講師となり心肺蘇生法や AED の使用法、様々なシチュエーションを想定した動きの確認や、実技を交えながら溺水についての園内研修を実施した。また、園舎内や園庭の写真を活用し個々の危険予測を共有したり、窒息について既存のマニュアルや過去の事故事例、消費者庁の動画を活用した園内研修を行う等し、危機管理に対する意識向上を図った。 <p>③ 主体的な組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層が中心となり、職員会議の企画・運営を行った。「室内環境を変えたい」という職員の声を拾い議題にあげた際は、クラスの枠を越えアイデアを出し合いながら解決策を見出し、直ちに実践に移す姿が見られた。その後、環境を変えた上での児童の姿を共有し、振り返りを行った。 ・中堅層がファシリテーション研修に参加。会議の企画・運営を担う機会は少なかったが、学んだ技法をミーティング内で試みる姿が見られ、議論の活性化につながった。 ・階層別研修は、新型コロナウイルス感染症に係る取り組みや対応を優先したこともあり、計画通りの進捗に至らなかった。 ・チームで協働しながら月案フォームの見直し・改訂をすすめた。新たに事故報告書や午睡チェック等も ICT システムを活用し、事務の効率化を図った。 ・ノンコンタクトタイムを導入し、残業時間の削減につなげた。また、導入後に振り返りを行い、職員間で改善策を出し合いながら定着化に努めた。 	<p>① 保育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の当たり前に目を向け、児童の姿から暮らしや関わり方について見直す ・たつみで大切にしていることを職員間で共有しながら、保育の考察を繰り返す。 ○児童の育ちについて保護者と共有してゆく ・児童の育ちについて保護者と共有できる方法を学び、実践に移してゆく。又、児童と職員や職員同士での保育の振り返りにも活用してゆく。 <p>②子どもの育ちを支える環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の姿から、熱中できる環境や居心地の良い保育環境をつくる ・様々なヒト・モノ・コトとの出会いから生まれる、児童の思いや興味・関心を探り、園舎内外の環境をつくってゆく。 <p>③ 安心・安全な保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全管理や危機管理の意識を強化する ・安全対策委員会の意義を明確にし、発生した事故の検証を丁寧にを行う等し、再発防止に努める。保育環境を点検した際の気づき（ヒヤリ）をその都度共有し、迅速な改善に努める。 ○マニュアルの整理や改訂したマニュアルの浸透化を図る ・内容が重複している書類やわかりにくい書類の整理を行う。 ・昨年度改訂したマニュアルも含め、読み合わせを計画的に行う。 ・災害時に関するマニュアルを活用した園内研修や、訓練の振り返りを行い、柔軟に対応が出来るよう備える。 <p>④ チーム力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行動の目的意識を共有し、協働しながら物事に取り組む ・個々の役割を明確にし、目的意識を高める。一人ひとりが自覚を持ち主体的に行動してゆく。 ○互いに学び合い、高め合う関係性を育む ・階層別チームを再編成。各チームごとに学びのテーマを決め、対話を重ねながら実践や振り返りを繰り返してゆく。 ・個々の学びを職員間で共有し、一人ひとりが保育力を身につけてゆく。
その他	●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定なし	●葛飾区主催利用者アンケート 11月に実施。(回収率 63%) 3月に要望・意見に対する回答を作成し、保護者に書面にて配布する。	●東京都福祉サービス第三者評価受審

<前年度>

令和4年度 ひのか保育園 事業計画 (案)

作成 令和4年2月28日

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和4年度 事業計画																																										
利用定員	<p>●事業定員</p> <table border="1" data-bbox="249 296 854 394"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 166人</p> <p>●特別保育事業 一日定員 一時保育 10名</p> <p style="text-align: right;">合計 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	18	24	24	33	33	34	<p>●実績人数 (令和4年3月現在)</p> <table border="1" data-bbox="884 296 1668 394"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>33</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 145人</p> <p>○年度途中の入退園児 入園・・・0歳児0名、1歳児1名、2歳児0名、3歳児1名、4歳児4名、5歳児0名 退園・・・0歳児0名、1歳児0名、2歳児0名、3歳児4名、4歳児0名、5歳児1名</p> <p>○特別保育事業 年間利用人数 (2月現在) 一時保育 362名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	18	24	24	27	33	19	<p>●予算定員</p> <p>◎通常保育 合計 166名</p> <table border="1" data-bbox="2024 340 2795 438"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎特別保育 一時保育 一日定員 10名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	18	24	24	33	33	34
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	18	24	24	33	33	34																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	18	24	24	27	33	19																																							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																							
人数	18	24	24	33	33	34																																							
職員配置	<p>●配置計画</p> <p>施設長 1名 管理職 1名(副園長) (事務局長、たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 31名(内1名育児休業取得中) 非常勤職員 18名 合計 53名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名(副園長 事務局、たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 31名 (内1名育児休業取得中) 非常勤職員 18名 (内1名育児休業取得中) 合計53名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など 入職…6月 派遣保育士 1名、 7月 非常勤職員(保育補助) 1名、 8月 非常勤職員(夏期アルバイト) 1名 退職…8月 派遣保育士 1名(契約満了)、 9月 非常勤職員(夏期アルバイト 契約満了) 1名</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和4年4月</p> <p>退職…正規保育士2名、非常勤保育補助1名 採用…正規保育士2名、非常勤保育補助1名 異動…施設長 うらら保育園へ1名 たつみ保育園から1名 正規保育士 うらら保育園へ3名 たつみ保育園へ1名 うらら保育園から2名 非常勤保育補助 学童保育クラブから1名</p> <p>施設長 1名 管理職 (副園長) 1名 事務局長・たつみ保育園副園長兼務 監督職 2名 一般職 31名 (内1名産前休暇取得予定) 非常勤職員 18名 (内1名育児休業取得予定) 合計53名</p>																																										
処遇の特 例事項			<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症対応について 衛生管理を徹底し、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p> <p>●事故・怪我処置対応…マニュアルに基づいた対策を行い、浸透を図る。</p>																																										
<p>●感染症の状況 4・5・6・8・1・2月 突発性発疹 11名 4・5・6月 胃腸炎、嘔吐、下痢 38名 4・5月 感染性胃腸炎 17名 6・7月 アデノウイルス感染症 2名 6・7・10・11月 アデノウイルス感染症 11名 6・7・9月 RSウイルス感染症 6名 7月 水痘 1名 1・2月 手足口病 12名 7・1・2月：新型コロナウイルス感染症 園児13名、職員7名</p> <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 69件 擦過傷(顔)・17件、左角膜びらん、左上歯打撲、上唇小帯裂傷・4件、後頭部打撲、頭部打撲・2件、左第二指裂傷、 上前歯打撲・4件、頬部擦過傷、左頬部擦過傷・3件、右頬部擦過傷、額部裂傷、眼瞼びらん、眉下部内出血、下前歯打撲、 上肢皮膚欠損症、右肘肘内障、眼球内出血、左外側充血、左第三趾挫傷、前歯一部欠損、左頬部擦過傷、下口唇裂傷、 頬部打撲、鼻根部擦過傷、右頬部びらん、眼瞼擦過傷、左結膜裂傷、顎下部擦過傷、頬部発赤、口唇裏裂傷</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし ※保護者より、ご意見箱への投稿、お声掛けいただいた内容は掲示板及びメールにて返答する</p>																																													

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p>① 安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームの編成と活性化 ○園内研修の実施 ○外部研修への参加 ○保育環境の見直し ○保護者へ向けて、安全の取り組みの発信 <p>② 報告・連絡・相談の明確な仕組みを確立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務の明確化と統一 ○報告・連絡・相談のわかりやすい仕組みづくり ○職員への周知徹底 <p>③ 地域交流スペースの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多世代地域との連携と交流 	<p>① 安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームを発足する <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策委員会では、各種マニュアルの読み合わせや危険や衛生に対する対策・方法を検討 ・クライシスマネジメントチームでは、特にケガが続いた1歳児の環境について即時対策を講じる ●必要に応じての開催となり、定期的なミーティングの開催が課題となる また、チームの活動方法や内容も再検討する必要がある ○各種マニュアルの作成・改訂を行い、既存のマニュアルを見直し、内容の改訂や図式化を行う ●全マニュアルの改訂及び作成には至らず。来年度も継続して行う ○職員会議や昼礼の時間を利用して、各種マニュアルの読み合わせを実施する ●実践に沿った情報共有や振り返りまで行うことが課題となった ○キャリアアップ研修(副主任及びリーダー層)や株式会社アイギスをはじめ、外部リモート研修に積極的に参加、各々の専門性向上の学びを深めた ○園庭チーム・ひのかの根歩チームの発足 講師を招きながら園庭の環境について学びを深め、チームの中で役割分担を行い、職員室内に置かれた掲示板を活用しながら情報共有を行い、ミーティングを行いながら環境設定を進めていった ●ミーティングを重ねていき、新たな玩具の購入や段階的に巧技台を出すなど行っていたが、継続的に行っていけなかったことが課題である ○掲示板・ご意見箱の返答方法を変更し、わかりやすさとスピーディー化を図った ●「掲示板が見づらい」と保護者からのご意見もあり、共有の方法を再検討することが課題となる <p>② 報告・連絡・相談の明確な仕組みづくりを確立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から使用している各書類フォームの見直しを行うことで、保護者へのわかりやすい掲示と共に業務をまとめることができた ○看護会議／離乳食・献立会議の開催方法を見直し、職員の学びへ繋げる会議の在り方を実施した ●昼礼報告や、ミーティングの中で発進した内容を参加者以外と共有徹底することができず、方法の見直しが課題となる ○地域交流スペースの活用 ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、1日の受け入れ人数を午前・午後各2組に限定 子育てひろばとまり木の開催を毎日行うことで、利用家庭が増えてくる ○木の芽の会(離乳食試食会)、園庭開放、こぐまの会(ボランティアによる絵本の読み聞かせ)を定期的で開催することで、利用が増える 	<p>① 職員育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員階層別チームの編成 <ul style="list-style-type: none"> ・階層別(新任・初任、中堅、リーダー)チームごとに園内研修を行い、「子どもの育ちについて」をテーマに対話を重ねながら保育の学びに繋げる ○会議やミーティングの企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層が中心となり、主任・副主任のサポートのもと、会議やミーティングの企画・運営を行い、保育を共に考える場づくりを目指す <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミーティングの定期的な開催 <ul style="list-style-type: none"> ・根っ歩チーム(保育の中の疑問や課題について課題提起していく有志が集まったチーム)を中心にミーティングを重ね、「ひのかの保育」の土壌づくりに繋げていく ○行事について考える <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームを作り、各行事をPDCAサイクルを用いながら計画・実行し、行事の振り返りを丁寧に行いながらひのかの行事の軸をつくっていく <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームの再編成 <ul style="list-style-type: none"> ・各チームの役割を明確にすることで活動の活性化を図り、職員の危険に対する意識を高める ・各チームの定期的なミーティングの開催を行う ○子どもにとっての「安心の場所」について考える <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもにとっての安心とは？」を常に考え、リーダー層を中心に職員同士で対話を重ね、「安心」についての共通認識に繋げていく
その他	●東京都福祉サービス第三者評価の受審	●園独自のアンケートを実施(回収率39%)130家庭中51家庭 大変満足+満足=84.31%	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価の受審 ●子育てひろば事業(一般型) 午前午後各2組ずつ利用 催し物(木の芽の会(離乳食試食)、園庭開放、こぐまの会(ボランティアによる絵本の読み聞かせ会))

項目	前年度計画	前年度実績(課題)	令和4年度 事業計画																																												
利用定員	<p>●計画人員</p> <table border="1" data-bbox="270 302 753 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>3名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計18人</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	6名	6名	3名	<p>●実績人員(令和3年3月)</p> <table border="1" data-bbox="1020 302 1516 394"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>3名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計18人</p> <p>○年度途中の入退園</p> <p>入園 2歳児 6名</p> <p>退園 3歳児 2名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	6名	6名	3名	<p>●予算定数等</p> <table border="1" data-bbox="1881 317 2516 426"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th></th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>合計14人</td> </tr> </table> <p>●執行上の問題点・課題</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名	合計14人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	3名	6名	6名	3名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	3名	6名	6名	3名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	1名	3名	6名	6名	合計14人																																								
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>運営受託管理者(保育士) 1名</p> <p>一般職(保育士) 1名</p> <p>非常勤職員 5名(保育士資格保有者4名) 合計 7名</p>	<p>●実績人員</p> <p>運営受託管理者 1名 一般職 1名 非常勤職員 5名 合計 7名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職: 一般職 1名(派遣保育士)</p> <p style="text-align: right;">令和3年2月時点</p>	<p>●予算人員</p> <p>*令和4年4月</p> <p>退職…非常勤子育て支援員 1名</p> <p>採用…非常勤子育て支援員 1名</p> <p>異動…正規保育士 うらら保育園へ 1名</p> <p>運営受託管理者 1名 派遣保育士 1名 非常勤職員 5名 合計 7名</p>																																												
処遇の特例事項	<p>対角線</p>	<p>●感染症の状況</p> <p>感染症報告なし</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 3件</p> <p>内訳…頭部外傷 1件、歯欠損 1件、右外耳道異物 1件</p> <p>○新型コロナウイルスの情報収集・保護者・職員への注意喚起</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情無し</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。</p> <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。</p> <p>*新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p>																																												

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p>①室内環境と整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育室と小部屋のある環境を活かした活用方法を考える <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋の畳のある環境を活かし、ゆったりと過ごせる和の空間作り、子供達が安心して過ごせる環境づくりを行っていく。（クッションの購入、電子ピアノの移動） ○玩具の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の劣化や安全性を見直し、遊びが十分に展開できるようにする ・プレイマット、ソファ、壁紙、ボードゲーム等の購入 ○衛生面を配慮した環境構成 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使用する水回りの衛生面を見直す（コップ置き場、水道、トイレ） <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使いやすい高さに修繕する。デッキ設置と併せて、水道の位置を検討する ○丈夫な素材のすのこ・ウッドデッキ等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキを設置した場合、子供達の動線、使用目的、園舎との兼ね合いを検討する ○屋根の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○玩具の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・劣化した玩具を処分し、安全に戸外遊びが展開できるようにする（砂場の玩具、三輪車、乗り物） <p>④行事の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供主体の行事づくり <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声を取り入れ、発想豊かな行事を楽しめるようにする ○行事を作り上げる過程を掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの過程から、子供の姿や、成長を保護者と共有する <p>⑤保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ○保護者を対象としたイベントの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて、子育て講座やワークショップの開催 	<p>①室内環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室、小部屋共に、玩具の整理を行った。今現在も、子供達の遊び方から、今何が必要か、どのような声掛けが必要なのか、その都度職員間で話し合い、環境づくりを検討している。 小部屋については、ゆったり過ごせる空間としての活用はまだ改良の余地あり。 ・コップ置き場は、水道の上の空間にコップをぶら下げることで、衛生面を検討した。実際に取り付け、使用感を試すことで、コップの置き方を考えていきたい。また、コップ置き場が移動することで、室内に置いてある設備が減るため、室内環境の見直しをしていく。 ・外水道は、建設会社と打ち合わせを行うが、年度内の施工実施は難しい。 ・室内環境については、“これで決まり”とするのではなく、子供達の姿から必要な事を見つけ、過ごしやすい空間を常に考えていく必要がある。 <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外水道は、建設会社と打ち合わせを行うが、年度内の施工実施は難しい。 ・ウッドデッキについては、その使用目的を検討したところ、雨の日以外の空気に触れられる場所、外での工作（絵具遊び等）であった。雨の日の利用については、屋根がなければ意味がない。そのため、先に屋根の取り付けを建設会社に相談した。見積もりと、施工方法について打ち合わせを行うが、年度内の施工実施は難しい。 <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劣化した玩具を処分した。 ・滑り台の劣化が見られたため、建設会社に相談。部品を取り扱う会社へ見積もりを発注した。年度内の施工実施は難しい。 <p>④行事のすすめかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が発送豊かに取り組めるように、話し合いの場を設けたり、導入や、声掛け方法を考えた。 ・本番までの準備や進行など、職員体制的に負担が大きく、他の仕事ができないこともあった。 ・行事を作り上げる過程を、決定内容や、どんな意見が出たのかなど、イラストで掲示した。写真や、制作過程も貼り出すと、子供の姿がより具体的に伝わったと思う。 <p>⑤保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組むことができなかった。 ・案は今年度中にまとめておき、今後できるチャンスがある時に、改めて取り組みたい。 	<p>①保育環境を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供達の発達、興味、関心、に合わせた環境を整える <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の提供方法、どんな遊びが必要かなど、子供達の姿から、環境づくりを行っていく。 ○共感しながら作る暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・子供、保護者、職員、友達など、様々な関係の中で、互いに想いを伝えあいながら、共に育つ場所を目指す。 ○安全な保育環境 <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事など職員間での周知を徹底し、安心で安全な環境づくりを行っていく。 <p>②行事の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発見を大切に作る暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びから、行事へのアイデアに繋がるようにする。 ・子供達の言葉や、遊びを記録し、膨らませ、行事へとつなげていく。 ○日々の暮らしを丁寧に保護者へ伝えていく <ul style="list-style-type: none"> ・写真、日誌の掲示方法の検討 <p>前年度からの持ち越し事項</p> <p>①保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ○保護者を対象としたイベントの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて、子育て講座やワークショップの開催 <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使いやすい高さに修繕する。 ○屋根の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○劣化した遊具の修繕を行う <p>※前年度からの持ち越し事項においては、継続して進め、時期をみて実施する。</p>

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和年4度 事業計画																																																																															
	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	執行上の問題点、課題等																																																																													
利用定員	<p>●事業定員 80名 *内 障がい児5名</p> <p>●予算定数 80名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>41</td></tr> <tr><td>2年</td><td>35</td></tr> <tr><td>3年</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	41	2年	35	3年	4	合計	80	<p>●事業定員 32名</p> <p>●予算定数 32名 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td></tr> <tr><td>2年</td><td>7</td></tr> <tr><td>3年</td><td>22</td></tr> <tr><td>4年</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	7	3年	22	4年	3	合計	32	<p>●実績</p> <p>3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>43</td><td>入:5退:5</td></tr> <tr><td>2年</td><td>32</td><td>退:4</td></tr> <tr><td>3年</td><td>5</td><td>入:1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80</td><td></td></tr> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児3名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	43	入:5退:5	2年	32	退:4	3年	5	入:1	合計	80		<p>●実績</p> <p>3月 現在児童（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>2年</td><td>9</td><td>入:3退:1</td></tr> <tr><td>3年</td><td>17</td><td>入:2退:7</td></tr> <tr><td>4年</td><td>4</td><td>入:1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>30</td><td></td></tr> </table> <p>入退数…年度途中入退会数</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	0		2年	9	入:3退:1	3年	17	入:2退:7	4年	4	入:1	合計	30		<p>●予算定数 80名 *内 障がい児3名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>39</td></tr> <tr><td>2年</td><td>38</td></tr> <tr><td>3年</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	39	2年	38	3年	3	合計	80	<p>●予算定数 32名 *内 障がい児1名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td></tr> <tr><td>2年</td><td>7</td></tr> <tr><td>3年</td><td>25</td></tr> <tr><td>4年</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32</td></tr> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	7	3年	25	4年	0	合計	32	
学年	在籍人数																																																																																			
1年	41																																																																																			
2年	35																																																																																			
3年	4																																																																																			
合計	80																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																			
1年	0																																																																																			
2年	7																																																																																			
3年	22																																																																																			
4年	3																																																																																			
合計	32																																																																																			
学年	在籍人数	入退数																																																																																		
1年	43	入:5退:5																																																																																		
2年	32	退:4																																																																																		
3年	5	入:1																																																																																		
合計	80																																																																																			
学年	在籍人数	入退数																																																																																		
1年	0																																																																																			
2年	9	入:3退:1																																																																																		
3年	17	入:2退:7																																																																																		
4年	4	入:1																																																																																		
合計	30																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																			
1年	39																																																																																			
2年	38																																																																																			
3年	3																																																																																			
合計	80																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																			
1年	0																																																																																			
2年	7																																																																																			
3年	25																																																																																			
4年	0																																																																																			
合計	32																																																																																			
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員4名 （内非常勤2名）</p> <p>子ども総合プラン：児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員3名 （内非常勤2名）</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員 3名（内非常勤1名） 補助員2名</p> <p>子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名 非常勤1名）</p> <p>●年度途中の入職・退職</p> <p>○8月 補助員 1名入職</p> <p>●年度途中の異動</p> <p>○5月中旬 児童支援員（非常勤）1名 西新小岩あや学童保育クラブへ異動</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員3名（内非常勤2名）</p> <p>●年度途中の入職・退職</p> <p>○なし</p>	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員3名（内非常勤1名） 補助員 1名</p> <p>子ども総合プラン：児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員2名（内非常勤1名） 補助員 1名</p>	<p>学童全体退職・採用</p> <p>令和4年4月</p> <p>退職…正規児童支援員1名 採用…正規児童支援員2名 異動…非常勤補助員 ひのか保育園へ1名</p>																																																																													
処遇の特例事項	<p>◎子ども総合プラン</p> <p>・夏季一時学童保育を実施（7月21日～8月31日） 場所：小松南小学校 家庭科室 1年生5名 2年生1名が入会した。</p> <p>・小松南小学校わくチャレ共通プログラム実施</p>		<p>●感染症</p> <p>4月ウイルス性胃腸炎1名/8～2月新型コロナウイルス感染症児童13名職員2名</p> <p>●事故・怪我発生件数</p> <p>受診を要する事故・怪我 4件 （前期報告済み）2件 左足首捻挫/突き指</p> <p>●安全管理</p> <p>8月 学童からの帰宅途中に車と接触事故があったが、怪我は無かった。学校と連携し、家庭へ注意喚起の緊急メールを配信し、児童にも注意喚起を行った。 12月 小松南小プール棟下トイレガラス破損修理工事</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、行政からの情報収集・指示に従い、その都度各家庭へ伝達した。また、小学校と連携を図り安全管理に努めた。</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症</p> <p>1月手足口病1名/1.2月新型コロナウイルス感染症児童9名職員1名</p> <p>●事故・怪我発生件数</p> <p>受診を要する事故・怪我 2件 （前期報告済み）</p> <p>●安全管理</p> <p>4月 便器水詰まり工事 10月 雨漏り工事</p> <p>・同左</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、新型コロナウイルスについては、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。</p> <p>○葛飾区委託事業「放課後子ども総合プラン」の実施</p> <p>・小松南小学校わくチャレ共通プログラム</p> <p>・夏季一時学童保育</p>																																																																															

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p><全学童 共通></p> <p>①つくる、つくりあう</p> <p>○知恵を寄せ合い、術を身につけながら暮らしを創りだす。</p> <p>○様々な体験を通じて、仲間と繋がる。</p> <p>らる第一</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育園・小学校・家庭・地域と連携を図り、児童の生活の連続性を保障する役割を担う。 ●経験し、感じ、行き戻りつしながら、暮らしを豊かにしてゆく。 <p>らる第二</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「やりたい」から広がる創造性が形となり、充実感が得られる保育。 ●仲間と関わりを深め、多様な思いに触れ、育ちあう関係づくりを支える。 	<p><全学童 共通></p> <p>① つくる、つくりあう</p> <p>○仲間と知恵を絞り、対話を重ねることにより、今まで気づかなかった視点で物事を捉え、暮らしを創りだしていった。</p> <p>○遊びや行事等を通し、目的を達成するためのプロセスを経験する中で、お互いを知り、遊びが広がり、仲間関係が深まった。</p> <p>らる第一</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と、定期的に児童の情報交換を行った。また、感染症についても小学校と連携し、安全管理を行った。 ●生活や遊びの中で、成功や失敗、共感体験を得て、思いやりの心が育まれていった。 <p>らる第二</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童が「作ってみたい」と思えるような素材を準備し、充実した時間を過ごし、達成感や満足感が得られた。 ●仲間と関わる中で、喜怒哀楽を表現し、あるがままを認め合える関係づくりを支援した。 	<p><全学童 共通></p> <p>①安心な保育</p> <p>○豊かな遊びや経験を通して、安心できる居場所をつくる。</p> <p>○保護者・関係機関と連携を図り、児童が日々の生活を円滑に過ごす。</p> <p>らる第一</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心も体も発散できる場や、素材の充実を図る。 <p>らる第二</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「面白い」「やってみたい」から夢中になって遊ぶことができる環境をつくる。 <p>るりたつみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異年齢の関係を通して、共に遊ぶ楽しさを分かち合う保育。 <p>あや</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICT システムを導入、運用し、児童の安全管理に努め、保護者と関係を繋ぐ。
	<p>②安全・安心な保育環境の構築</p> <p>○不測の事態に備える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の正しい知識、情報を把握し、正しく恐れ、感染拡大防止に努める。 ・緊急事態時に、事業の中断を最小限に留めるよう、BCP（事業継続計画）を見直し、浸透を図る。 ・災害時3日分及び、感染症時も対応できる備蓄品を確保する。 <p>○危機管理能力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命講習・防犯・避難訓練を行い、有事に冷静に対応出来る能力を養う。 ・インシデントや事故発生を振り返り、原因を分析し再発防止に努める。 ・児童が、自ら危険を回避できる育成支援を行うため、発想を柔軟にし、想像力を高め、リスク意識の向上に努める。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。 	<p>②安全・安心な保育環境の構築</p> <p>○不測の事態に備える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策、発生後の対応について見直し、保護者へ周知した。また、フローチャートや、PCR検査記録表の改定を行い、情報把握を迅速に行えるようになった。 ・新型コロナウイルス感染症の為、小学校ではタブレット使用しての授業を開始した。学童でもタブレットで宿題を行うため、急務でWi-Fi環境整備を行った。 ・消防計画及びBCP（事業継続計画）を改定し、周知を図った。防災リュックの確認や、感染症時も対応できる3日分程度の備蓄品を確保した。 <p>○危機管理能力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署員による救急救命講習を行い、最新の知識を得た。また、避難・引き渡し訓練、緊急メール配信訓練、通報、消火訓練及び、警察署員による防犯訓練を実施し、リスク管理に努めた。 ・厚生労働省の放課後児童クラブ事故報告を基に、事故防止のポイントを学び、危険予測力の向上を図った。 ・熱中症、交通事故、遊具での怪我等、児童自身が考え、判断できるように支援した。 	<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための安全管理。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災時に、持ち出しに必要な物を見直し、職員間で共有を図る。 ・昨年同様、災害時3日分の備蓄品、医薬品を確保し、置き場を検討する。 ・様々な事態を想定した防犯訓練を、年2回以上行い、緊急事態に備える。また、防犯用品を確保する。 <p>○安全対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクチームを立上げ、事故や怪我の防止と発生時の対応を分析し、安全管理に努める。 ・事故や怪我発生時のシュミレーションを行い、迅速な初期対応を目指す。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。

	<p>③人材育成の強化</p> <p>○チーム力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を深く掘り下げ、対話的な学びから、共に学ぶ風土作りをしてゆく。 ・チームビルディングを実践し、チームの目的を共有し、メンバーの強みを発揮し、コミュニケーションの活性化を図り、チーム力の向上を目指す。 ・外部研修の内容を全体で共有し、新しく得た学び、気づきを行動指針として描き、保育の質の向上に努める。 <p>○階層別研修体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、OFF・JTを基本に、中堅、リーダー層が、新任初任職員の育成を強化する。 ・新任初任は年に3回、中堅・リーダー層は、年に2回以上内部研修を実施し、研修体系に沿った育成を行う。 	<p>③人材育成の強化</p> <p>○チーム力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育の振り返りにより、対話から解決策を見出し、お互いを認め合い、関係性の向上へと繋がった。また、職員会議では、「支援とは？」等、言葉を掘り下げ、目指す保育を共有した。 ・一人ひとりの強みを活かすチームホスターを作成し、目指すチーム像を語り合ったことにより、コミュニケーションが活発化し、チーム力向上へ繋がった。 ・外部研修で得た知識を共有し、「報・連・相について」「支援員の役割」「ケアする心、励ます心」「学童期における性の現状と課題、接し方について」等、日々の実践を振り返り、子供の体や心の理解を深めた。 <p>○階層別研修体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTシートを基に、3か月に1回、目標達成度を確認し、課題や目指す姿を明確にした。中堅、リーダー層が、経験や実践によって身につけてきた事を、言語化し育成を行った。双方向のコミュニケーションの結果、聞きあえる関係性が生まれていった。 ・内部研修チームを立上げ、新任初任「怪我の応急処置」中堅・リーダー層「OJT担当者によるアウトプット」等を実施。様々な実践やスキルを学び、保育の質の向上へ繋がった。 	<p>③人材育成の強化</p> <p>○チームビルディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが主体性をもち、組織の目標を達成できるチームを構築する。 ・ICTシステムを導入し、事務の効率化を図り、対話する時間を確保し、コミュニケーションをとり、関係性を育む。 ・定期的に職員面談を行い、士気を高め、チーム力向上に繋げる。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、職員研修体系を基に、新任初任職員の個々に応じた育成を強化する。 ・自らの保育を考察し、役割を自覚し、人間性と専門性の向上に努める。 ・中堅、リーダー層がファシリテーターとなり、職員会議の企画、運営を行う。課題に沿ったテーマを抽出し、保育の質の向上を目指す。 ・オンライン外部研修に参加し、得た学びを共有する。
--	---	--	---

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和4年度 事業計画																																																																																																	
	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや	執行上の問題点、課題等																																																																																															
利用定員	<p>●事業定員 40名 *内 障がい児1名</p> <p>●予算定数 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>11</td></tr> <tr><td>2年</td><td>14</td></tr> <tr><td>3年</td><td>8</td></tr> <tr><td>4年</td><td>4</td></tr> <tr><td>5年</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	11	2年	14	3年	8	4年	4	5年	2	合計	39	<p>●事業定員 109名 *内 障がい児8名</p> <p>●予算定数 4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>31</td></tr> <tr><td>2年</td><td>37</td></tr> <tr><td>3年</td><td>28</td></tr> <tr><td>4年</td><td>13</td></tr> <tr><td>合計</td><td>109</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	31	2年	37	3年	28	4年	13	合計	109	<p>●実績 3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> <th>入退数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>11</td><td>入:1退:1</td></tr> <tr><td>2年</td><td>14</td><td>入:1退:1</td></tr> <tr><td>3年</td><td>6</td><td>退:2</td></tr> <tr><td>4年</td><td>4</td><td></td></tr> <tr><td>5年</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>37</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児1名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	11	入:1退:1	2年	14	入:1退:1	3年	6	退:2	4年	4		5年	2		合計	37		<p>●実績 3月 現在児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> <th>入退数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>26</td><td>入:1退:5</td></tr> <tr><td>2年</td><td>36</td><td>入:1退:3</td></tr> <tr><td>3年</td><td>20</td><td>入:退:8</td></tr> <tr><td>4年</td><td>6</td><td>入:退:7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>88</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>入退数…年度途中入退会数 *内 障がい児9名</p>	学年	在籍人数	入退数	1年	26	入:1退:5	2年	36	入:1退:3	3年	20	入:退:8	4年	6	入:退:7	合計	88		<p>●予算定数 40名 *内 障がい児1名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>9</td></tr> <tr><td>2年</td><td>10</td></tr> <tr><td>3年</td><td>14</td></tr> <tr><td>4年</td><td>6</td></tr> <tr><td>5年</td><td>0</td></tr> <tr><td>6年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	9	2年	10	3年	14	4年	6	5年	0	6年	1	合計	39	<p>●予算定数 101名 *内 障がい児10名</p> <p>4月1日児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>27</td></tr> <tr><td>2年</td><td>26</td></tr> <tr><td>3年</td><td>32</td></tr> <tr><td>4年</td><td>15</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>101</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	27	2年	26	3年	32	4年	15	5年	1	合計	101	
学年	在籍人数																																																																																																					
1年	11																																																																																																					
2年	14																																																																																																					
3年	8																																																																																																					
4年	4																																																																																																					
5年	2																																																																																																					
合計	39																																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																																					
1年	31																																																																																																					
2年	37																																																																																																					
3年	28																																																																																																					
4年	13																																																																																																					
合計	109																																																																																																					
学年	在籍人数	入退数																																																																																																				
1年	11	入:1退:1																																																																																																				
2年	14	入:1退:1																																																																																																				
3年	6	退:2																																																																																																				
4年	4																																																																																																					
5年	2																																																																																																					
合計	37																																																																																																					
学年	在籍人数	入退数																																																																																																				
1年	26	入:1退:5																																																																																																				
2年	36	入:1退:3																																																																																																				
3年	20	入:退:8																																																																																																				
4年	6	入:退:7																																																																																																				
合計	88																																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																																					
1年	9																																																																																																					
2年	10																																																																																																					
3年	14																																																																																																					
4年	6																																																																																																					
5年	0																																																																																																					
6年	1																																																																																																					
合計	39																																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																																					
1年	27																																																																																																					
2年	26																																																																																																					
3年	32																																																																																																					
4年	15																																																																																																					
5年	1																																																																																																					
合計	101																																																																																																					
職員配置	<p>●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員5名 （内非常勤名3名） 補助員2名</p>	<p>●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p> <p>●年度途中の入職・退職 3月 児童支援員（非常勤）1名退職 2月 児童支援員（非常勤）1名入職</p>	<p>●実績人員 児童支援員6名（内非常勤4名）補助員2名</p> <p>●年度途中の入職・退職 5月 補助員1名 入職 7月 児童支援員（非常勤）1名 入職</p> <p>●年度途中の異動 5月中旬 補助員1名 小松南らる学童保育クラブへ異動</p>	<p>●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤1名）</p>	<p>●予算人員 児童支援員8名 （内非常勤名6名） 補助員1名</p>																																																																																																
処遇の特例事項			<p>●感染症 2.3月新型コロナウイルス感染症児童7名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我1件 （前期報告済み）</p>	<p>●感染症 8~3月新型コロナウイルス感染症児童21名職員1名/9月流行性耳下腺炎1名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我6件（前期報告済み） 2件 歯肉裂傷・膝関節捻挫</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、新型コロナウイルスについては、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。</p>																																																																																																	
<p>●安全管理 7月 コンセント修繕/水漏れのため、トイレ排水管修繕 10月 テラス・水場修繕工事 /8月 Wi-Fi 環境整備工事/2月 キッチン交換工事・フェンス交換工事</p> <p>・三季休業中、注文弁当異物混入があり、業者へ安全管理の徹底を依頼した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、行政からの情報収集・指示に従い、その都度各家庭へ伝達した。また、各小学校と連携を図り安全管理に努めた。</p>			<p>●安全管理 7月 コンセント修繕 10月 室内ドア鍵交換工事 1月 畳及び畳枠設置工事</p> <p>・同左</p>																																																																																																			
<p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>			<p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>																																																																																																			

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度事業計画						
重点項目	<p><全学童 共通> ①つくる、つくりあう ○知恵を寄せ合い、術を身につけながら暮らしを創り出す</p> <p>○様々な体験を通じて、仲間と繋がる</p> <table border="1" data-bbox="308 562 1074 947"> <tr> <td data-bbox="308 562 700 947"> るりたつみ ●考え、気づき、しなやかな発想で思い描くものが成し遂げられる暮らしづくり。 ●庭の空間を活かし、心地よい場、関係が深まる場、夢中になれる場を作ってゆく。 </td> <td data-bbox="700 562 1074 947"> あや ●心揺さぶるものごとに、チャレンジ、没頭できる環境を作ってゆく。 ●豊かさを追求しながら、心も体も満たされる保育づくり。 </td> </tr> </table>	るりたつみ ●考え、気づき、しなやかな発想で思い描くものが成し遂げられる暮らしづくり。 ●庭の空間を活かし、心地よい場、関係が深まる場、夢中になれる場を作ってゆく。	あや ●心揺さぶるものごとに、チャレンジ、没頭できる環境を作ってゆく。 ●豊かさを追求しながら、心も体も満たされる保育づくり。	<p><全学童 共通> ① つくる、つくりあう ○仲間と知恵を絞り、対話を重ねることにより、今まで気づけなかった視点で物事を捉え、暮らしを創りだしていった。</p> <p>○遊びや行事等を通し、目的を達成するためのプロセスを経験する中で、お互いを知り、遊びが広がり、仲間関係が深まった。</p> <table border="1" data-bbox="1074 562 2027 947"> <tr> <td data-bbox="1074 562 1516 947"> るりたつみ ●思い描いたものが実現出来るように、アイデアを共有しながら保育を行った。 ●戸外で、集団遊び、野菜、花の栽培、虫取り等、夢中になって遊べる環境に、心身ともに開放感を味わった。 </td> <td data-bbox="1516 562 2027 947"> 西新小岩あや ●昆虫の飼育、野菜作りの環境を整備した事により、成長を楽しみ、意欲や興味へと繋がった。 ●SDGsについて話し合い、段ボールコンポストを実施。残食が肥料へと変化することを五感で感じていた。 </td> </tr> </table>	るりたつみ ●思い描いたものが実現出来るように、アイデアを共有しながら保育を行った。 ●戸外で、集団遊び、野菜、花の栽培、虫取り等、夢中になって遊べる環境に、心身ともに開放感を味わった。	西新小岩あや ●昆虫の飼育、野菜作りの環境を整備した事により、成長を楽しみ、意欲や興味へと繋がった。 ●SDGsについて話し合い、段ボールコンポストを実施。残食が肥料へと変化することを五感で感じていた。	<p><全学童 共通> ①安心な保育 ○豊かな遊びや経験を通して、安心できる居場所をつくる。</p> <p>○保護者・関係機関と連携を図り、児童が日々の生活を円滑に過ごす。</p> <table border="1" data-bbox="2027 562 2902 947"> <tr> <td data-bbox="2027 562 2469 947"> るりたつみ 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入 </td> <td data-bbox="2469 562 2902 947"> 西新小岩あや 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入 </td> </tr> </table>	るりたつみ 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入	西新小岩あや 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入
るりたつみ ●考え、気づき、しなやかな発想で思い描くものが成し遂げられる暮らしづくり。 ●庭の空間を活かし、心地よい場、関係が深まる場、夢中になれる場を作ってゆく。	あや ●心揺さぶるものごとに、チャレンジ、没頭できる環境を作ってゆく。 ●豊かさを追求しながら、心も体も満たされる保育づくり。								
るりたつみ ●思い描いたものが実現出来るように、アイデアを共有しながら保育を行った。 ●戸外で、集団遊び、野菜、花の栽培、虫取り等、夢中になって遊べる環境に、心身ともに開放感を味わった。	西新小岩あや ●昆虫の飼育、野菜作りの環境を整備した事により、成長を楽しみ、意欲や興味へと繋がった。 ●SDGsについて話し合い、段ボールコンポストを実施。残食が肥料へと変化することを五感で感じていた。								
るりたつみ 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入	西新小岩あや 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入								
	②安全・安心な保育環境の構築 ○不測の事態に備える。 ・新型コロナウイルス感染症の正しい知識、情報を把握し、正しく恐れ、感染拡大防止に努める。 ・緊急事態時に、事業の中断を最小限に留めるよう、BCP（事業継続計画）を見直し、浸透を図る。 ・災害時3日分及び、感染症時に対応できる備蓄品を確保する。 ○危機管理能力の向上を図る。 ・救急救命講習・防犯・避難訓練を行い、有事に冷静に対応出来る能力を養う。 ・インシデントや事故発生を振り返り、原因を分析し再発防止に努める。 ・児童が、自ら危険を回避できる育成支援を行うため、発想を柔軟にし、想像力を高め、リスク意識の向上に努める。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。	②安全・安心な保育環境の構築 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入	②安全な保育環境 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入						
	③人材育成の強化 ○チーム力向上 ・言葉を深く掘り下げ、対話的な学びから、共に学ぶ風土作りをしてゆく。 ・チームビルディングを実践し、チームの目的を共有し、メンバーの強みを発揮し、コミュニケーションの活性化を図り、チーム力の向上を目指す。 ・外部研修の内容を全体で共有し、新しく得た学び、気づきを行動指針として描き、保育の質の向上に努める。	③人材育成の強化 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入	③人材育成の強化 小松南らる第一・第二学童保育クラブに記入						

	<p>○階層別研修体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、OFF-JTを基本に、中堅、リーダー層が、新任初任職員の育成を強化する。 ・新任初任は年に3回、中堅・リーダー層は、年に2回以上内部研修を実施し、研修体系に沿った育成を行う。 		
--	--	--	--

令和4年度 事業計画 施設名 りりたつみ・西新小岩あや学童保育クラブ

< 前 年 度 >

令和4年度 すずうらホーム 事業計画 (案)

令和4年3月10日 作成

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和4年度 事業計画
利用定員	<ul style="list-style-type: none"> ●事業定員 <ul style="list-style-type: none"> ・特養定員 80名 ・短期定員 12名 *特例利用により運営 ●予算定数 <ul style="list-style-type: none"> ・特養= 84名×94% *特例利用も含む ・短期= 8名×83% *同上 	<ul style="list-style-type: none"> ●実績人員 (令和3年2月末時点での平均実績) <ul style="list-style-type: none"> ・特養実績・・・平均稼働率 90.03%で推移 年間合計空床日数 2,800日 (入院空床 1,671日、契約解除後空床 1,129日、外泊空床0日) ・短期実績・・・平均稼働率 55.38%で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業定員 <ul style="list-style-type: none"> ・特養定員 80名 ・短期定員 12名 *特例利用により運営 ●予算定数 <ul style="list-style-type: none"> ・特 養 84名×93% *特例利用含む ・短期入所 8名×80%
職員配置	<ul style="list-style-type: none"> ●予算人員 <ul style="list-style-type: none"> 施設長 1名 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 2名 (介護係長・本部出向主幹) 介護支援専門員 1名 管理栄養士 1名 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 25名 非常勤 8名 看護師 常勤 3名 非常勤 1名 事務員 常勤 1名 非常勤 2名 運転手 非常勤 1名 小計 49名 非常勤医師 2名 合計 51名 ※協力病院…6施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●実績人員 (令和4年2月末時点) <ul style="list-style-type: none"> 施設長 1名 (兼務) 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 1名 (介護係長) 介護支援専門員 1名 管理栄養士 2名 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 23名 (内、育児休暇中2名) 非常勤 13名 (内、派遣5名) 看護師 常勤 1名 非常勤 5名 (内、派遣1名) 事務員 常勤 2名 (法人本部出向2名) 非常勤 2名 (法人本部出向1名) 小計 54名 非常勤医師 2名 合計 56名 *協力病院…5施設 (西村記念病院は閉院) ●年度途中の入退職・異動など (令和2年2月末時点) <ul style="list-style-type: none"> 入職 7名 (常勤 1名、非常勤 6名) 退職 6名 (常勤 0名、非常勤 6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●予算人員 (令和4年新規採用内定者は2月末現在で1名) <ul style="list-style-type: none"> 施設長 1名 管理職 2名 (生活相談員兼務) 監督職 1名 (介護係長・本部出向主幹) 介護支援専門員 2名 管理栄養士 2名 (常勤1名、非常勤1名) 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 28名 (令和4年3月1名入職、4月入職内定者1名、育休明け2名含) 非常勤 10名 (常勤換算 5名) 看護師 常勤 2名 非常勤 4名 (常勤換算 3,3名) 事務員 常勤 2名 非常勤 1名 小計 56名 非常勤医師 2名 合計 58名 ※協力病院…5施設
処遇の特例事項		<ul style="list-style-type: none"> ●感染症の状況 利用者2名、職員2名の新型コロナウイルスの罹患があった ●事故・怪我発生件数 (保険者への報告事案) ※2月末時点 骨折・・・4件 打撲・・・2件 ●苦情解決・・・苦情解決委員が召集される苦情はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症予防・拡大防止対策 マニュアルに基づき日々の感染予防対策を実施する。新型コロナウイルス感染症マニュアルは行政の指示や情報に沿って随時見直し、実践する。 ●事故・怪我対応 マニュアルに基づいた対策及び対応を実施する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月から「一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所」により評価を実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> ●給食委託業者の変更後の安定した食事提供の確保 <ul style="list-style-type: none"> *報連相や定期的なミーティング等を行いながら安定的な食事提供を実施する ●東京都福祉サービス第三者評価を計画 <ul style="list-style-type: none"> *第三者評価実施時期については前年度と近い時期で受審予定

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
	<p>① 運営の安定</p> <p>○短期入所生活介護事業の稼働安定 感染症対策を踏まえた受入れの実践と新規利用者の確保、リピーターの定着を目指した運営</p> <p>○感染症対策への取組み 継続的な感染症対策を実践し、対応策マニュアルの整備・見直しを行う</p> <p>○地域に向けた取組み コロナ禍における地域への取組みと連携・協力体制を検討し、関係の再構築を行う</p> <p>○人材の確保 直接雇用者を増やすための採用や外国人雇用について方法や受入れ体制を見直す</p> <p>② 業務の効率化</p> <p>○ICTの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフトを利用した記録の運用と活用を実践する ・試用期間を経て、本格的な運用を行い、使用状況の確認や職員アンケート・質疑応答等を実施しながら職員の不安解消や運用方法の理解を深める ・記録種別のマニュアルを再構築する <p>③ 人材育成の強化</p> <p>○職員個々の育成方針・プロセスの立案と実施 各階層に求められる役割やキャリアビジョンもとに職員個々の育成方針を立案し、本人と育成担当が共有した上で日々の育成を実施する。</p> <p>○すずうらホーム ルールブックの作成 法人・施設理念、職員のあるべき姿・姿勢、遵守すべき法令、各種指針、マニュアル等をまとめたルールブックを作成し、職員育成や共通理解するためのツールとして活用する</p> <p>○各部署・委員会における活動（事業）計画の立案・実施・評価 各部署・委員会の役割理解とチームケアを実践したうえで、目標や到達目標を設定し、PDCAサイクルを実践する。</p> <p>○ハラスメント対策 ハラスメント対策について委員会を設置し、職場内で起こりうるハラスメントについて検討し、予防対策や情報発信を行う。</p>	<p>①運営の安定</p> <p>○短期入所生活介護事業の稼働安定 リピーターの定着を目的に委員会を再発足し、個別ケア対応方法の周知と報連相を強化することでサービスの質の向上に繋がった。コロナ禍において、積極的な営業活動は行わなかった。</p> <p>○感染症対策への取組み 行政機関・嘱託医と連携を図り、利用者・職員への新型コロナウイルスワクチン接種を3回目まで実施した。毎月の感染症対策会議にて日々の感染症対策の取り組み内容の検討・実践方法の周知とマニュアルの整備を行った。</p> <p>○地域に向けた取組み コロナ禍において地域町会の行事等も中止となっており、以前のように互いの行事に参加・協力することは難しい状況となった。 令和4年1月より「にじいろマルシェ」の定期開催を企画実施した。</p> <p>○人材の確保 看護師の確保に苦慮したが派遣や人材紹介を利用しながら、人材確保に努めた。外国人新任職員の育成に課題が出ているため、育成方針や受入れ側の育成も必要となっている。</p> <p>②業務の効率化</p> <p>○ICTの運用 5月より介護ソフトの運用を開始している。5月・1月と施設内研修にて勉強会（質疑応答含む）を実施した。ICTの運用により各部署との情報共有・業務の効率化に繋がった。次年度に向けたマニュアル（手順書）作成している。</p> <p>③人材育成の強化</p> <p>○育成委員会と監督職で職員個々の育成方針を立案し毎月評価を実施した。また、上半期の反省とともに育成方針や求められる役割を伝えることで、職員個々のスキルアップに繋がった。</p> <p>○現場から知りたいこと等情報収集し、ルールブックを作成した。</p> <p>○毎月各委員会が目標管理を実施するが、委員会内での専門性に留まってしまう、現場（フロア）が求める取り組み・実践が必要である。</p> <p>○ハラスメント対策 ハラスメントについての理解からはじめ、職場で起こりうる検討事例をもとにハラスメント対策のマニュアルを作成した</p>	<p>①運営の安定</p> <p>○特養契約解除後の空床日数を減少し、稼働率の向上を図る。 即日入所可能な待機者を常時5名確保し、計画的に新規面接を実施する。</p> <p>○短期入所生活介護事業の稼働安定 感染症対策を踏まえた受入れの実践と新規利用者の確保、リピーターの定着を目指した運営を行う。</p> <p>○人材確保と外国人雇用受け入れ体制の構築 直接雇用者の増員を図り、職員の定着と安定した運営を目指す。 外国人人材の受け入れ体制・指導体制を構築し、外国人雇用を目指す。</p> <p>②サービスの質の向上を図る</p> <p>○ケア環境の見直しと環境整備、感染症対策の強化 より安全な居住空間、過ごしやすさの提供を目指した環境整備と日常的に感染症対策を実践し、利用者の健康管理に努める。</p> <p>○日々のサービス内容の質を上げると共に、利用者本位のサービス、自立支援を意識したサービスを追求する。また、加算算定要件の理解を深め、より良いサービス提供を実践する。</p> <p>○『人財』育成力を高め、職員個々での成長、チームの成長、組織の成長を目指す。また、各職種・各委員会の専門性を高め、協働し、質の高いサービス提供を行う。</p> <p>③地域との連携強化</p> <p>○地域住民との交流の場をつくる（にじいろマルシェの定期開催等） 行事や交流の場を通して利用者・職員が地域へ参加できる機会を作る。</p> <p>○地域資源としての施設の有効活用 施設を地域資源として活用していただく機会が減っているため、どのような活用方法があるのか検討し、地域と共有する。</p>

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和 4 年度事業計画																																				
利用定員	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293 日 ・1ヶ月あたりの利用者数 480 人 ・登録者数 60 人 	<p>●実績人員 (2月末日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293 日 ・1ヶ月あたりの平均利用者数 436 人 ・予算比達成率 90.8% <p>月別利用人数</p> <table border="1" data-bbox="973 541 1970 716"> <thead> <tr> <th>月 (営業日数)</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月末登録者 (名)</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>44</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>月利用者数 (名)</td> <td>480</td> <td>395</td> <td>453</td> <td>456</td> <td>466</td> <td>459</td> <td>468</td> <td>441</td> <td>444</td> <td>403</td> <td>329</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 新規契約者 7 名 解約者 11 名 	月 (営業日数)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	月末登録者 (名)	46	46	46	45	45	45	45	46	46	44	42	月利用者数 (名)	480	395	453	456	466	459	468	441	444	403	329	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293 日 ・1ヶ月あたりの利用者数 480 人 ・登録者数 60 人
月 (営業日数)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																												
月末登録者 (名)	46	46	46	45	45	45	45	46	46	44	42																												
月利用者数 (名)	480	395	453	456	466	459	468	441	444	403	329																												
職員配置	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1 名 (すずうらホーム施設長兼務) 生活相談員 2 名 (1名介護職兼務) 看護職 1 名 介護職 7 名 機能訓練士 1 名 <p>合計 12 名</p>	<p>●実績人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1 名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1 名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2 名 (1名介護職兼務) 非常勤看護職 1 名 機能訓練士 1 名 (あん摩マッサージ師) 令和 4 年 1 月 31 日退職 介護職 6 名 (内 1 名 8 月まで派遣職員 1 名採用) 常勤換算 4.8 名 <p>合計 12 名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <ul style="list-style-type: none"> 入職 1 名 (非常勤介護職員 1 名 12 月採用) 退職 1 名 (機能訓練指導員 1 月末退職) 	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1 名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1 名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2 名 (1名介護職兼務) 看護職 (非常勤) 1 名 介護職 5 名 (常勤換算 4.5) <p>合計 9 名</p>																																				
処遇の特例事項		<p>●感染症の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者 利用者 3 名 事業所内の濃厚接触者なし <p>●事故・怪我発生件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診を要する怪我 0 件 <p>●苦情解決・・苦情解決委員が召集される苦情はない</p>	<p>●感染症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じると共に、季節性の感染症の予防対策や感染拡大防止策を徹底して行う。 <p>●事故防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルに基づいて対策を行う 																																				

	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
重点項目	<p>1、運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業所ブランドの再構築 ・対象者を明確にする ・提供すべきサービス、機能訓練などの明確化 ・事業所としての武器を作り他事業所との差別化を図る ・外部へのプロモーション <p>2、職員の育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応力強化 ・利用者処遇に対する教育体制の整備 ・現場の対応力強化 ・感染症、災害時対策 ・高齢者虐待防止推進 ・ハラスメント対策 <p>3、地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域において社会参加活動 ・地域拠点になるデイサービスづくり ・地域住民との交流を図る場を設ける <p>4、業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフの運用と活用 	<p>1、運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ブランドの再構築 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し日々の活動内容を工夫し実施した。また、with コロナの時代、社会参加に繋がる活動の提供を考え実施した。 ・ハード面を活かし、活動ごとに場所を変更することで感染リスクを減らすことが出来た。 ・ケアマネージャーに適切に利用者様情報を伝えることを重点的に実施した。 ・集団の場なので感染リスクは否定しがたいため、活動内容に制限がかかるなか感染対策を徹底し利用者満足度につながるよう工夫しサービスを提供した。 <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修受講者（WEB 配信）による内部研修を実施し職員の質の向上に努めた。 ・認知症の周辺症状が強く出ている方が多く、家族や他サービス機関と現状把握し、有する能力を引き出せるよう努めた。 ・感染症 BCP マニュアル作成を実施した。マニュアルと照らし合わせながら、感染症対策についての意識を高めた。 ・利用中の急変時や事故発生時の対応について定期的に事例検討会を開催し現場の対応力強化に努めた。 ・高齢者虐待防止、ハラスメント対策について資料を配布し周知した。虐待の芽チェックリストを実施、日頃の利用者への接遇、処遇について振り返りを行った。 <p>3、地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言やまん延防止重点措置が出ている状況で計画通りの活動が行えていない。次年度も事業計画として継続する。 ・地域における社会参加活動として、にじいろマルシェを 1/29 に開催した。 <p>4、業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護記録など PC、タブレットを使用することにより記録にかかる時間が大幅に削減されたことと記録場所を選らばず行えることにより、利用者に関われる時間が増えた。 ・利用者の情報共有がスムーズに行えるようになった。 	<p>1、運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業所の売りを作り付加価値をつける。 ●利用者が高いモチベーションの上で自己選択、自己決定をして「やっていること」と「やれること」との落差の解消を目指しさらに「やりたいこと」へ取り組むことが出来るような支援を行う。 ●ICT の利活用でサービスの質と業務の効率化を同時に高める <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者処遇、接遇に対する教育体制の強化 ・内部研修、外部のオンライン研修を活用する。 ●介護サービスの生産性を向上させる。 ①職場環境整備 ②業務の明確化と役割分担 ③記録・報告様式の工夫 ④理念・行動指針の徹底 <p>3、地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域において社会参加活動 ・地域拠点になるデイサービスづくり ・地域住民との交流を図る場を設ける。
その他			<ul style="list-style-type: none"> ・地域における社会参加活動として、にじいろマルシェを定期的に開催する。

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和4年度 事業計画
利用定員	<p>●計画人員（ケアプラン作成利用者数） 延べ 1,104 件/年 92 件/月</p>	<p>●実績 ケアプラン作成利用者数 （令和4年2月末日現在） 介護ケアプラン作成 1,071 件 1ヶ月平均 97 件 ●その他 予防ケアプラン受託作成数 延べ件数 139 件 日常生活総合事業対象者受託件数 延べ 50 件 認定調査受託件数 59 件</p>	<p>●計画人員（ケアプラン作成利用者数） 延べ 1,104 件/年 92 件/月 ※事業所上限契約数をもとに、給付実績が90%以上となるように目標を設定した。 ●認定調査受託件数 区内、他区・他県からの認定調査受託件数 延べ 180 件/年 15 件/月</p>
職員配置	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1名 介護支援専門員 常勤1名・非常勤2名</p>	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1名 介護支援専門員 常勤2名 非常勤2名 ※令和3年9月30日付 非常勤1名退職</p>	<p>●配置計画 管理者（兼務） 1名 介護支援専門員 常勤2名（1名兼務） 非常勤1名 計3名</p>
処遇の特例事項		<p>●居宅のサービスにおける苦情・事故はなかった</p>	
重点項目	<p>1, 地域包括ケアシステムの推進、強化を図る</p> <p>2, 運営の安定化を図る</p>	<p>1, 地域包括ケアシステムの推進、強化を図る</p> <p>① 医師等と情報連携を行い、医師等からの情報を踏まえたケアマネジメントを行った。</p> <p>② 退院、退所後、福祉用具の使用が見込まれる場合、カンファレンスに福祉用具相談員等の参画を促した。</p> <p>③ 地域連携を図る手段とし、地域ケア会議への参加、生活支援型のサービスの活用を行った。</p> <p>2, 運営の安定化を図る</p> <p>① 感染症対策の強化 ・感染症マニュアルの策定・見直し、研修の開催を実施した。</p> <p>② 業務継続への取り組みの強化 ・事業継続（BCP）の策定、研修の開催、災害時台帳の作成をおこなった。</p> <p>③ ハラスメント対策について ・ハラスメント対策について研修をおこなった。</p> <p>④ 高齢者虐待防止の推進 虐待の研修の実施を行い、虐待についての理解を深めた。 疑わしい事案について、管轄の地域包括支援センターへ相談・報告し、個別地域ケア会議や葛飾区高齢支援課への相談を行った。</p> <p>⑤ ICTの活用 ・居宅介護支援ソフトの選定、導入を行った。 ・研修や退院前カンファ等オンラインで行った</p>	<p>1, 運営の安定化を図る</p> <p>① 医療機関や介護老人保健施設、介護保険サービス事業者等の担当者と連携を図ると共に、地域包括支援センターとの連絡を密にし、事業所契約数維持増加につなげていく。</p> <p>② 地域包括ケアシステムを意識した継続性のある介護サービスを提供する。また、当事業所が窓口となり当法人の他事業所サービスにつながるように各担当者と連携・協議を行う。</p> <p>2, 業務の効率化を図る</p> <p>① 居宅介護支援ソフト導入にあたり、記録の運用と活用を実践する。 ・本格的な運用を行い、使用状況の確認、操作方法の理解を深め、業務の効率化を図る。 ・定期的に運用状況の確認を行い、支障箇所の改善を図る</p> <p>3, 人材育成、サービスの資質向上に努める</p> <p>① 公的研修への参加、事業所内での勉強会を実施する。 ・介護支援専門員 専門課程Ⅱ、主任介護支援専門員更新要件研修、スキルアップ研修。オンライン研修への参加し、事業所内で勉強会を実施し、自己研鑽を図る。</p> <p>② 日常生活困難事例や突発的な事案への取り組み ・高齢者虐待予防・権利擁護の推進を図るべく、事業所内勉強会や事案報告を行う。 また、事例シートを使用し、事業所内で相談・対処方法の検討を行い、情報共有を行う。 ・状況により地域包括支援センター、葛飾区高齢支援課への相談及び協力を仰ぎ、適宜指示、助言を受ける。</p> <p>③ 認知症ケアに対する取り組み ・認知症介護基礎研修の受講及び受講後、事業所内でフィードバックを行う。 ・事業所内で認知症についての研修を定期的に実施する</p>